

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【公表番号】特表2017-514827(P2017-514827A)

【公表日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2017-021

【出願番号】特願2016-565176(P2016-565176)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/25	(2006.01)
A 6 1 K	8/11	(2006.01)
A 6 1 Q	1/12	(2006.01)
A 6 1 Q	1/10	(2006.01)
A 6 1 Q	1/06	(2006.01)
A 6 1 Q	1/08	(2006.01)
A 6 1 Q	1/04	(2006.01)
A 6 1 Q	1/02	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/25
A 6 1 K	8/11
A 6 1 Q	1/12
A 6 1 Q	1/10
A 6 1 Q	1/06
A 6 1 Q	1/08
A 6 1 Q	1/04
A 6 1 Q	1/02
A 6 1 Q	19/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月7日(2018.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生理学的に許容される媒体中に、高湿潤点を有しあつ任意的に多孔質であってもよい少なくとも1つの粒子を含む少なくとも1つのマイクロカプセルを含む、ケラチン物質をコアおよび/またはメイクアップするための組成物であって、上記マイクロカプセルが、少なくとも1つのコアおよび上記コアを取り囲む少なくとも1つの層状コーティングを含み、上記粒子が、高湿潤点を有し、任意的に多孔質であってもよく、かつケラチン物質上に上記組成物が施与されたときにのみ上記マイクロカプセルから放出される、上記組成物。

【請求項2】

高湿潤点を有する粒子が多孔質である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

高湿潤点を有する粒子が、少なくとも油に関して高湿潤点を有する、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】

高湿潤点を有しかつ任意的に多孔質であってもよいカプセル化された粒子が、上記マイクロカプセルのコア中にのみ存在する、請求項1～3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項5】

上記マイクロカプセルのコアが、高湿潤点を有しかつ任意的に多孔質であってもよい粒子および少なくとも1つの結合剤を含む、請求項1～4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

上記層状コーティングが少なくとも1つの内側層および1つの外側層を含む、請求項1～5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】

上記コアを取り囲む少なくとも1つの内側層が、高湿潤点を有しかつ任意的に多孔質であってもよい粒子を含む、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

高湿潤点を有しかつ任意的に多孔質であってもよいカプセル化された粒子が、上記マイクロカプセルのコアおよび少なくとも1つの内側層に存在する、請求項6に記載の組成物。

【請求項9】

上記マイクロカプセルが、少なくとも1つの結合剤を含む少なくとも1つの層を含む、請求項1～8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項10】

上記マイクロカプセルの外側層が、高湿潤点を有する粒子を含まず、任意的に結合剤を含んでいてもよい、請求項6に記載の組成物。

【請求項11】

上記マイクロカプセルが、マイクロカプセルの重量に対して30～80重量%の上記粒子を含む、請求項1～10のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項12】

生理学的に許容される媒体中に、放出可能な物質を含有するマイクロカプセルを少なくとも含む、請求項1～11のいずれか一項に記載の、ケラチン物質をケアおよび／またはメイクアップするための組成物であって、上記マイクロカプセルが、

上記粒子の少なくとも1つおよび任意的に少なくとも1つの有機物質を含むコア、

上記コアを取り囲む少なくとも1つの層状コーティング、ここで上記層状コーティングは、少なくとも1つのポリマー、少なくとも1つの脂質ベースの物質およびそれらの混合物から選択される結合剤、および任意的に、高湿潤点を有する少なくとも1つの粒子を含み、上記粒子は任意的に多孔質であってもよく、上記コアに含まれている高湿潤点を有する粒子と同じでもまたは異なっていてもよい、および

親水性ポリマーを含む外側層  
を含む、上記組成物。

【請求項13】

生理学的に許容される媒体中に少なくとも、放出可能な物質を含むマイクロカプセルを含み、ここで、上記マイクロカプセルが、

少なくとも1つの有機物質を含むコア、

上記コアを取り囲む少なくとも1つの層状コーティング、ここで上記層状コーティングは、少なくとも1つのポリマー、少なくとも1つの脂質ベースの物質およびそれらの混合物から選択される結合剤、および上記粒子の少なくとも1つを含む、および

親水性ポリマーを含む外側層  
を含む、請求項1～11のいずれか一項に記載の、ケラチン物質をケアおよび／またはメイクアップするための組成物。

【請求項14】

上記コアが、上記有機物質として少なくとも1つの単糖またはその誘導体を含む、請求項1～13のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項15】

上記コアを取り囲む層状コーティングが、  
アクリル酸もしくはメタクリル酸のホモポリマーもしくはコポリマー、またはそれらの  
塩およびエステル、

アクリル酸とアクリルアミドとのコポリマーならびにその塩およびそのエステル、

ポリヒドロキシカルボン酸ならびにその塩およびそのエステル、

ポリアクリル酸 / アルキルアクリレートコポリマー、

AMP S、

AMP S / アクリルアミドコポリマー、

ポリオキシエチレン化 AMP S / アルキルメタクリレートコポリマー、

アニオン性、カチオン性、両性または非イオン性のキチンまたはキトサンポリマー、

セルロースポリマーおよび誘導体、

最終的に修飾された、デンプンポリマーおよび誘導体、

ビニルポリマーおよび誘導体、

天然起源のポリマーおよびその誘導体、

アルギネットおよびカラギーナン、

グリコアミノグリカン、ヒアルロン酸およびそれらの誘導体、

ムコ多糖、例えばヒアルロン酸およびコンドロイチン硫酸、

ならびにそれらの混合物

からなる群から選択される少なくとも1つの親水性ポリマーを含む、請求項1～14のいずれか一項に記載の組成物。

#### 【請求項16】

上記層状コーティングが、多糖および誘導体、アクリル酸もしくはメタクリル酸のホモポリマーもしくはコポリマー、またはそれらの塩およびエステル、ならびにそれらの混合物からなる群から選択される親水性ポリマーを少なくとも含む、請求項1～15のいずれか一項に記載の組成物。

#### 【請求項17】

親水性ポリマーが、デンプンまたは誘導体、セルロースまたは誘導体から選択される、  
請求項16に記載の組成物。

#### 【請求項18】

上記コアが、少なくとも1つの单糖ポリオールを含み、上記コーティングが、糖単位として少なくともD-グルコース単位を含む少なくとも1つの多糖（またはその誘導体）を含む、請求項1～17のいずれか一項に記載の組成物。

#### 【請求項19】

上記マイクロカプセルが、少なくとも1つの脂質ベースの物質を含む、請求項1～18のいずれか一項に記載の組成物。

#### 【請求項20】

上記マイクロカプセルが、

高湿潤点を有する、任意的に多孔質であってもよい少なくとも1つの粒子、および/または单糖-ポリオールで作られたコアと、

少なくとも2つの異なる層と、

少なくとも1つの親水性ポリマーと

を少なくとも含む、請求項1～19のいずれか一項に記載の組成物。

#### 【請求項21】

上記マイクロカプセルが、

高湿潤点を有する、任意的に多孔質であってもよい上記粒子の少なくとも1つ、单糖-ポリオール、脂質ベースの物質、および親水性ポリマーを含むコアと、

結合剤としてのデンプン、アルキルアクリル酸 / アルキルメタクリル酸コポリマーおよびそれらの誘導体から選択されるポリマー、脂質ベースの物質、可塑剤、微結晶性セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ならびに任意的に少なくとも、上記コアに含まれている高湿潤点を有する粒子と同じでもまたは異なっていてもよい、高湿潤点を有する粒

子を含む内側層と、

TiO<sub>2</sub>、ポリマー、および任意的に結合剤を含む外側層と  
を少なくとも含む、請求項1～18のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項22】

上記マイクロカプセルが、

上記粒子の少なくとも1つ、単糖-ポリオール、脂質ベースの物質、および親水性ポリマーを含むコアと、

上記コアに含まれている高湿潤点を有する粒子と同じでもまたは異なっていてもよい高湿潤点を有する粒子、単糖-ポリオール、脂質ベースの物質を少なくとも含む内側層と、  
脂質ベースの物質および親水性ポリマーで作られた外側層と

を少なくとも含む、請求項1～18のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項23】

上記マイクロカプセルの少なくとも1つの層が流動床方法によって得られたものである  
、請求項1～22のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項24】

高湿潤点を有する粒子が、BET法に従って100m<sup>2</sup>/g超の空隙率を示す、請求項  
1～23のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項25】

高湿潤点の多孔質粒子が、吸油性フィラーである、請求項24に記載の組成物。

【請求項26】

上記吸油性フィラーが、シリカ、シリル化シリカ、ポリアミド、アクリルポリマー粉末  
、パーライト、炭酸マグネシウム、シリコーンフィラー、およびそれらの混合物から選択  
される、請求項25に記載の組成物。

【請求項27】

上記吸油性フィラーが、多孔質シリカミクロスフェア、ポリジメチルシロキサンでコー  
ティングされた非晶質シリカミクロスフェア、シリル化シリカ粉末、中空の非晶質シリカ  
粒子、ミネラルワックスで表面処理された沈殿シリカ粉末、多孔質ポリメチルメタクリレ  
ート/エチレングリコールジメタクリレート球、エチレングリコールジメタクリレート/  
ラウリルメタクリレートコポリマー粉末、中空PMMA球、ナイロン-6粉末、ナイロン  
12、パーライト粉末、炭酸マグネシウム粉末、オルガノポリシロキサン粉末；シリコーン  
の半球状の中空粒子、シリコーンの半球状の中空粒子から選択される、請求項24または  
25に記載の組成物。

【請求項28】

上記吸油性フィラーがエアロゲルである、請求項25～27のいずれか一項に記載の組  
成物。

【請求項29】

上記粒子が、水に関して100～600ml/100gの範囲の湿潤点を有し、任意的に多孔質であってもよい、請求項1～28のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項30】

高湿潤点を有する粒子が、球状セルロース粒子から選択される、請求項1～29のい  
ずれか一項に記載の組成物。

【請求項31】

ケラチン物質をケアおよび/またはメイクアップするための化粧方法であって、請求項  
1～30のいずれか一項に記載の組成物を上記ケラチン物質上に施与することを含む、上  
記方法。

【請求項32】

高湿潤点を有する粒子が、疎水性シリカエアロゲル粒子であり、かつ上記コアの内にお  
よび/または少なくとも1つの内側層の内に存在する、請求項1～22のいずれか一項に  
記載の組成物。

【請求項33】

疎水性シリカエアロゲル粒子を含有するコアおよび／または少なくとも1つの内側層が、フィラー、真珠層およびそれらの混合物から選択される、少なくとも1つの高密度の粒子をさらに含む、請求項3\_2に記載の組成物。

【請求項3\_4】

高密度の粒子が、ラメラ粒子である、請求項3\_3に記載の組成物。